

|  |   |         |       |
|--|---|---------|-------|
| 年度 2007 学期 後期  | 曜日・校時 水 4   | 必修選択 選択 | 単位数 2 |
| 授業科目/(英語名)   | 人間と文化 (オランダの文化)<br>Humanity and Culture (Lectures on Dutch Culture and Society) |         |       |
| 対象年次 1・2年次   | 講義形態 講義   | 教室      |       |
| 対象学生(クラス等) 全学部   | 科目分類 人文・社会科学科目  |         |       |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー<br>担当教員:相川忠臣 /Eメールアドレス: taikawa@nagasaki-u.ac.jp /研究室:医学部第一生理<br>オフィスアワー: 火曜日 17:00~18:00   |   |         |       |
| 担当教員(オムニバス科目等)   | クリスチネ ファン パーレン  |         |       |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標<br>授業のねらい: オランダの歴史・文化について基本的な知識を修得させる共に、日本(特に長崎)との関係に関するオランダから見た歴史評価に触れ、両国の交流の歴史を理解させる。また、これらの講義を通して、日蘭交流の架け橋となる国際人としての素養を身に付けさせる。<br><br>授業方法: ネイティブのオランダ人による英語による講義である。<br><br>授業到達目標: オランダの文化や日蘭交流史に関し、英語で説明が出来る。   |   |         |       |
| 授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)<br>授業内容(概要)<br>オランダの歴史・文化について以下に挙げる基本的な知識を修得し、オランダから見た日蘭交流に関する歴史的评价について学び、両国の交流の歴史を理解する。<br><br>第1回 オランダの地理 どのようにして海拔より低い土地でせいかつできるのか?<br>第2回 オランダの歴史 建国<br>第3回 オランダの歴史 19・20世紀<br>第4回 オランダ帝国 植民の歴史<br>第5回 日蘭の関係<br>第6回 オランダの宗教 オランダカルビン派の人々<br>第7回 オランダの人々 多文化社会の形成<br>第8回 オランダの芸術史 黄金時代<br>第9回 オランダの芸術史 19世紀と20世紀初頭<br>第10回 オランダの芸術誌 現代<br>第11回 国際語としてのオランダ語 なぜオランダ語は国際語にならなかったのか?<br>第12回 オランダ文学 A bourgeois Phenomenon<br>第13回 オランダの植民の文学 East and West<br>第14回 外来の文学 Third World Dutch Literature<br>第15回 オランダ人の文化的アイデンティティ |   |         |       |
| キーワード  | オランダ, 日蘭交流, 異文化   |         |       |
| 教科書・教材・参考書   | Reader Dutch Culture and Society  |         |       |
| 成績評価の方法・基準等  | レポート(3回)を提出する(100%)。  |         |       |
| 受講要件(履修条件)   |   |         |       |
| 本科目の位置づけ /学習・教育目標  |   |         |       |
| 備考(準備学習等)  |   |         |       |